

千歳川

道川 富美子

どこそこに何とかの鳥がみられたとか、いるらしいーとの情報が、私達（たいてい二人です）の次の休日の行き先を決めてしまいます。姿を見せてくれる所を想像しただけで、自分でもわけわからず興奮して出かけるまで落ちつきません。その日は「まずいない、と思いなさいよ。」と念を押されてから出発します。

そうでない休みの日は、歩きなれた野幌森林公園か円山公園へ出かけます。ゆっくりできる日は、弁当を持って野幌へ。怪しげな天気の時や、ちょっと時間が足りない時は円山へ。たとえ鳥さんがいなくても、樹や草花があり、地面があつて、雲が浮かんでいれば、私はそれでうれしいのです。

毎年飛石連休の一日は、千歳へ出かける事にしています。千歳バスターミナルから支笏湖行き朝一番に乗り、“ふ化場入口”停留所まで運んでもらって、後はのんびり戻ります。降りてすぐ、ナニワズの咲く明るい木立の中にカラ達の声聞き、今年はビンズイの囀る姿がみられました。王子製紙第4発電所へ通じる路へ入ります。若葉が拡がり、ひんやりとして、残雪の隣りには他にも増して色彩やかな福寿草が見事です。土の上に降りて食事のベニマシコの群に会い、前へ進めなかった時もあります。マヒワ・クロジ・ウグイス・ウソ・アマツバメ……切りないです。つき当たりは“立入禁止”の札が立っていますが、管理のおにいさんに頼めばダムの淵まで行けます。ヤマセミの巣穴を教えてもらったりしました。



〔ヤマセミ〕

もどって、今度は千歳川に添って続いているサイクリングロードを利用して歩きます。高速道路を過ぎた頃から、対岸が崖になっていて水浴びしている鳥達があります。近寄れないのがわかってか、隠れもしないでいる様子がかっこいいです。川岸で休んでいると決めてカワセミが現われてくれますし、環境が変わっていなければあたりまえの事なのでしょうが、前年と同じ所にモズがいて、ノビタキがいて、コガモが昼寝しているのが何だか不思議です。

最後は青葉公園を、薄暮くなるまでうろつきます。遊歩道ではキジに驚ろき（キジを驚ろ

かし)、また 2羽のトラツグミが 10m 程の所で先導してくれた時もありました。

こうして、一日がかりの探鳥を楽しんでいます。まだまだ、近い所から順に出かけたいと思っています。色々聞かせて下さいませ。